

令和4年度 秦野市委託事業 秦野伊勢原医師会主催 在宅医療・介護連携 市民参加型公開講座
「最期まで自分らしく暮らし続ける」 参加者アンケート

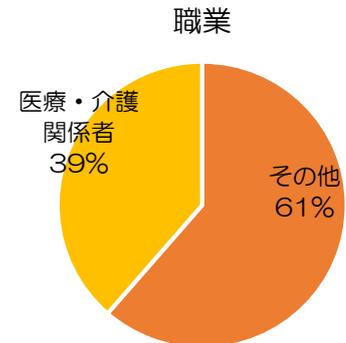
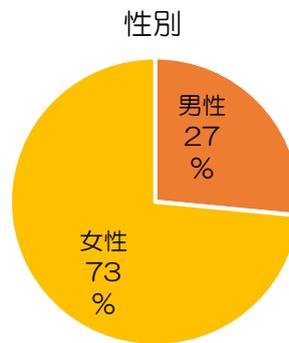
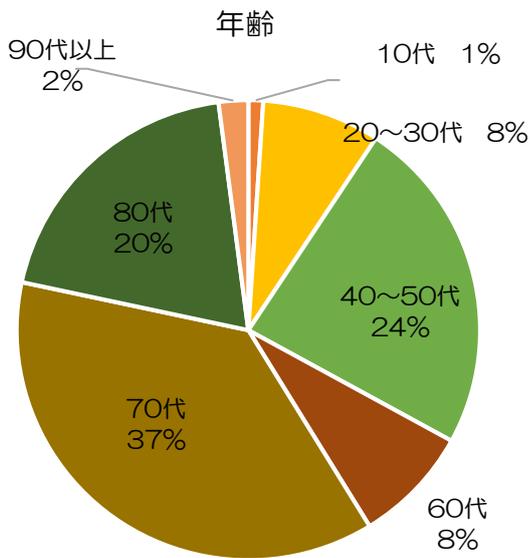
開催日 令和4年12月11日(日) 14時～16時
会場 秦野市保健福祉センター 3階 多目的ホール

参加者数	回答数	回答率
115	98	85.2%

年齢						
10代	20～30代	40～50代	60代	70代	80代	90代以上
1	8	23	8	36	19	2

性別	
男性	女性
26	72

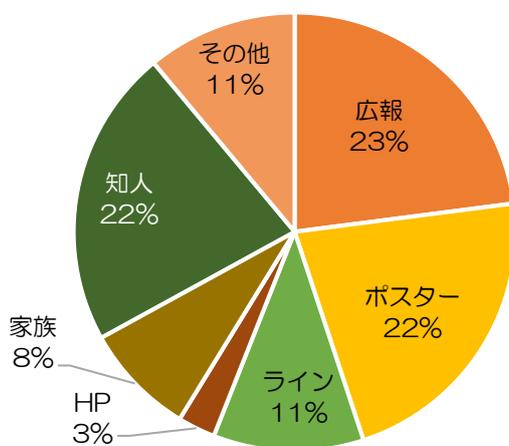
職業	
その他	医療・介護関係者
54	34



1. 講座を知ったきっかけ

広報	ポスター	ライン	HP	家族	知人	その他
25	24	12	3	9	24	12

知ったきっかけ



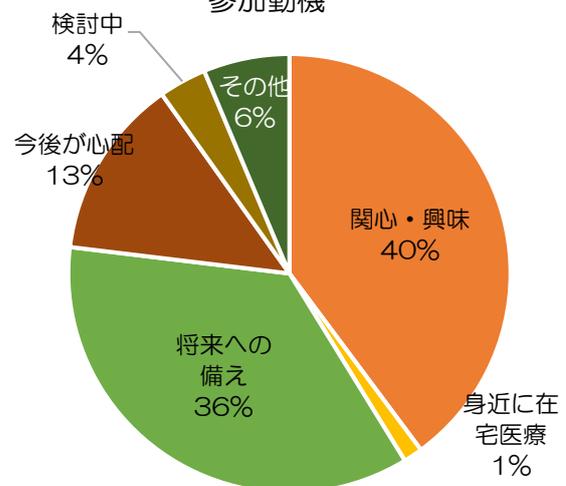
その他

さわやか体操での紹介、職場にメール、市役所棚のチラシ、関係者からの誘い、病院内での案内 等

2. 動機

関心・興味	身近に在宅医療	将来への備え	今後が心配	検討中	その他
57	2	51	19	5	9

参加動機



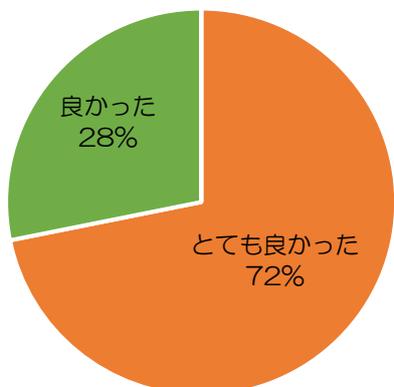
その他

民生委員として知っておきたい

3. 内容

とても良かった	良かった	あまり良くない	全く良くない
51	20	0	0

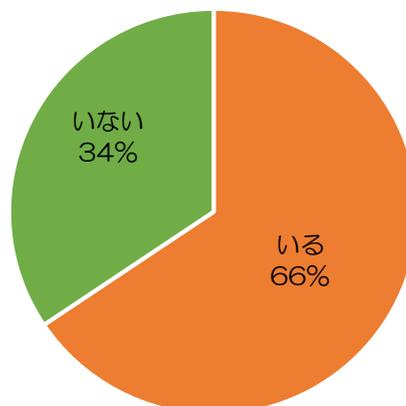
講演内容



4. かかりつけ医

いる	いない
61	32

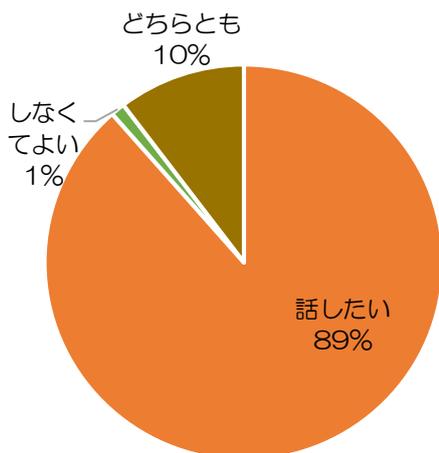
かかりつけ医



5. 人生の最終段階についての身近な方との話

話したい	しなくてよい	どちらとも
77	1	9

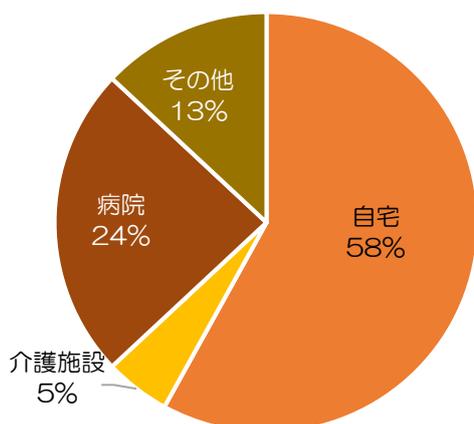
人生の最終段階



6-1. 最期をどこで迎えたいか

自宅	介護施設	病院	その他
58	5	24	13

最期をどこで迎えたいか



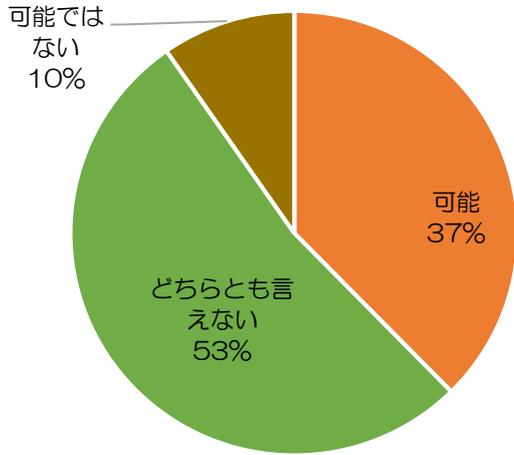
その他のご意見

- ・わからない。ケースバイケース。
- ・まだ分かりません。
- ・考え中
- ・一人暮らしのためわからない
- ・いろんな条件がととのえなければなかなか決められないところです。
- ・その時の様子により
- ・でも難しいと思った
- ・その時に考えることになると思う。

6-2. 希望する場所で最期を迎えること

可能	どちらとも言えない	可能ではない
35	49	9

希望する場所で最期を迎えること



「可能ではない」理由

- ・病院は治療が終わったらそのまま入院できないと思うから。
- ・家族には頼れない。
- ・夫と二人暮らしだから
- ・一人暮らしでは在宅は無理です。
- ・主人と二人だけの生活だから、娘3人いるのですが。

7. ご意見・ご感想

在宅医療はいろいろな方に迷惑を掛けるので、一人暮らしの私は最後は病院でと考える。そのために尊厳死協会に加入しています。
子供は3人いますが、それぞれのところにおいて所帯を持ち見てもらえるか心配です。
下村さんの話とても感動しました。死にゆく人の現場でカメラを回すということは本当に覚悟がいる仕事だと思われ ます。感受性の高い患者さんと対していくのはより深い感性がいることでしょう。 BGMで会話が聞きずらかった。
訪問診療をしてくださる先生がたくさんいらっしゃると思うのですが…。細かいことを相談できる窓口も増やしてほしいです。
大変勉強になりました。秦野市の支援の強さを知る。介護の現場の状況を知り励ましを受けた。
下村幸子先生の話は今まであまり聞いたことのないような話ですごく身に染みて聞くことができました。
一人暮らしなので心配。
元気なうちから死に付いて話し合える自分でいたいと思った。
良かったです。
大変良かったです。山崎多代子さんありがとう。体に気を付けて。
最後が口がきけないのは本人も周りもつらいなと思いました。人工呼吸器などクダだらけにならず死にたい。シンプルにモルヒネも必要ですよ。
よい事例の話を聞いて良かったです。GHで働いていますが、看取りに対し、本人の気持ちに寄り添いたいです。
一人暮らしの方が自宅で亡くなるシーンをNHKテレビで見ました。すぐ周りの介護チームが活躍され感動しました。
自然体で取材されて、すべての映像が直に胸に迫って感動しました。引き続き亡くなる方の尊厳を映像に残してほしいと思いました。
難しいことですね。自分も母をみとりましたが、たくさんスタッフは助けてくれなかったら無理でしたね。今改めて「ありがとう」を伝えたいですね。
心振るわされました。身近な事例であり、考えが深まるきっかけとなりました。
在宅か病院か、年齢的に考えるべきだと気づかされるのが遅かったと思うが、しっかり考えをまとめるべきだと思うようになった。在宅の場合、いかに家族に負担をかけるか？考えるべきと思うと迷う。在宅で旅立った両親のことを考えるといかに大変だったか。
在宅で看取することはよいとは思いますが、スタッフが不足していると思う。
資料が欲しい(下村さんの報告)。事例とも聞くだけでは頭に入らない。心構えとして参考にしたい。

<p>家族に迷惑はかけたくないと思うが、私の終わりはわからない。コロナ禍の中で人との触れ合いが少なくなり、自分なりに最後を迎えるには！心の中にいつまでも生きている人間になりたい。清司さん天国でも安らかに。</p>
<p>ご本人の思いを娘さんに伝えた。勉強・・・奥様、娘さん、ご本人様の思いをきっと伝えていくことでしょう。</p>
<p>公演中は「帽子を取ってください」と一言注意を言ってください。上映の邪魔になります。</p>
<p>自分らしく生きていきたい！！参考にさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>とても経験者さんの話は心に残りました。ぜひ家族で話し合いたいと思います。</p>
<p>生まれたからにはだれでも死ぬという当たり前のこと、死を考えることでよりよい生があるという思いを強くした。</p>
<p>いろいろのケースがあると思うが私には夫亡き後在宅でと思うが息子一人ではと思うと在宅は贅沢と思っている。故、清司さんとご家族の方、本当に幸せだと思いました。（在宅介護のチームスタッフの連携の良いこと）</p>
<p>登壇されている方がそれぞれどういう役割で在宅医療に関わっていらっしゃるのか基本的な説明が欲しかった。（どう関わったか）初心者なので在宅医療に関わる人、費用、流れ？がわからなかったのですが、自分も父、母、夫に在宅医療をしてあげられるか自問 自答する時間だった。自分は・・・家で最期を迎えたいけれど、子供の負担を考えると家では言えない。昔は一般的だった在宅での最後が今ではとても難しい。</p>
<p>私は現在81歳です。妻を平成2年に末期がんで病院で見送りました。私の近所の友人（男性）で85才で在宅で亡くなりました。これはとても幸せそうでした。また、もう一人は私と同世代で79才で亡くなり、これは病院にむりやり入れられたかわいそうな最後でした。私は娘が二人居ますが二人とも家には近づきません。でも私は寂しくありません。人生100年時代、今しかできない事をして楽しく暮らしています。体は難病を抱えていますがいって元気です。独りの生活も捨てたものではありませんよ。急に熱が出たりしたときはさすがに慌てますがなんとか薬を飲んでやりすごしています。在宅で過ごすのが一番だと思います。本日は感謝します。</p>
<p>多死時代を迎える10年～20年病院で最期を迎えるのも難しい。在宅での看取りを選択せざるを得ない社会を迎えようとしています。20年後の我が国の医療・介護・福祉がどうなっているかわかりませんが、在宅医との連携で苦しむことなく逝くことができれば家族と最後を迎えたいと思う。</p>
<p>もっとたくさんの人にこのシンポジウムを知ってほしい。</p>
<p>下村様のお話は実際に現場へ行き多くの方から得たことだらけだったので、心に響きました。今後も在宅医療に関わって本人の望む最後の手助けができればと思いました。</p>
<p>下村幸子さんのお話は大変感動しました。死を考えたように生きるかの重要性は同感です。2025年100万人を迎えるとのこと。在宅を希望する人は十分な介護を受けられるのか。</p>
<p>本当に介護は大変。約7年目も見えない主人と暮らした事を思い出して下村幸子さんの話を聞いた。今は自分のことになるとよくわからない。デイサービスに行くのは嫌だと言っていましたが、行ったときの笑顔が忘れられない。介護士、ケアマネージャーさん、ご苦労様でした。</p>
<p>非常に貴重なお話をありがたく聞かせていただきました。明日は我が身と考えていきっかけとなりました。</p>
<p>今の気持ちとして子供には迷惑をかけたくない気持ちが強いです。ありがとうございました。</p>
<p>涙が溢れそうでした。皆さま日々尽力いただいておりますありがとうございます。</p>
<p>大変貴重なお話しありがとうございました。</p>
<p>患者やその家族の事を考えてアドバイスしてくれる医療スタッフの教育を願うばかりです。</p>
<p>重複した行事をキャンセルしてこちらに参加してよかった。自宅介護の大変さを思い知らされた。大勢の人たちの手助けがあってこそ可能ということ。</p>
<p>本人、家族の思いを大切に出来る様に、今後の業務に生かしていきたいです。</p>
<p>最近は単身の自宅での看取りが見られるようになりました。今後はきっと増えていくと思われますので、限られた社会資源が有機的な連携体制を築けることを期待します。</p>
<p>在宅で介護ができるか不安が大きい。家族に対してそれを支えるチームが皆でたすけてくれるという体制が築けて、それが家族に伝われば自宅で看取った家族、本人とも絶対に公開はしないと思います。とても良い話が聞けました。</p>
<p>妹は膵臓がんで在宅で夫と看護スタッフチームの協力のおかげで安らかに天候へ行け幸せだったと今でも思っています。私は一人暮らしなので最後はどうなるのかな？死ぬのも大変ですね。今は笑って元気に長生きしたいです。まずは家の中の片づけをしなれば・・・切実な問題、気づかせてくれてありがとうございました。</p>
<p>本人、家族の想いを大切にすること、大切だと再認識しました。</p>

<p>ありがとうございます。絆を感じました。20年以上前、苦しむ患者さんにこの苦しみがわからないだろうといわれて、伝える言葉がなくてつらかったです。</p>
<p>私はナースを病院でしています。在宅へつなげる助けをしている立場になります。今回私自身もACPの勉強をしている途中で、大変勉強になりました。</p>
<p>在宅介護、通所施設介護を経験してきました。この公演や介護の知識をまた他のところでも公演していただきたい。</p>
<p>元気なうちに検討しなければならないと思った。自分の最後まで的人生を満足させる方法が見出せません。自分がまだ元気だからか。考えるキッカケがまだ見つからない。下村先生の話をもっと聞きたかった。自分、家族、介護士、病院のつながりが大事ですね。</p>
<p>家で最後まで見てもらうのは家族や周りの人のことを考えて、できればピンピンコロリといきたいが…。</p>
<p>山崎さんのご主人様はとてもお幸せな人生の最後を迎えられました。とてもうらやましいです。独居老人の自分はどういう最後を選ぶのだろうかと思っています。</p>

8. 今後取り上げてほしいテーマやご要望

<p>認知症、フレイルについて</p>
<p>無駄に延命はしてほしくない。その覚悟を本人も家族もハッキリしておいた方がいいのでは？</p>
<p>訪問看護の事について</p>
<p>下村氏の映画また流してほしい。</p>
<p>在宅医療と地域連携</p>
<p>今回のテーマの続編で、在宅医療の現場から、実際に在宅医からのお話を伺いたいです。</p>
<p>セーフティーネットとしての役割や在宅で頑張っているご家族が安心して生活できる世の中になってほしい。とにかく医師や看護師を増やすにはどうしたらよいかまた、質の高い教育を願います。</p>
<p>一人暮らしで生前にすべて完結させておきたい場合にやるべき事柄</p>
<p>在宅の内容で今後も研修をお願いしたいです。</p>
<p>天命が決まったら本人がリミットを決められる。法体制を決めてほしい。</p>
<p>病気にならない予防法。末期がんの方が人にその姿を見せたくないときどう対応したらよいのか教えてもらえたらと思います。</p>
<p>在宅へ依頼する実際、介護保険についての実際、申し込み方など市民は知りたいと思う。</p>
<p>介護保険とはどうものなのかという知識を他の方にも知ってほしいです。</p>